



令和 8 年 1 月 30 日
国土交通省関東地方整備局
長野国道事務所

工事発注手続きについて

～「R 7 松本国道出張所管内橋梁補修維持他工事」の発注手続きを行います～

長野国道事務所が発注する「R 7 松本国道出張所管内橋梁補修維持他工事」において、不調・不落対策等を試行、採用します。

工事発注において予定価格超過や入札参加者がいないことなどを理由として、入札のとりやめや不調が予想される工事について、不調・不落対策等を試行、採用しています。

今回発注する「R 7 松本国道出張所管内橋梁補修維持他工事」については、以下のとおり不調・不落対策等を試行、採用します。

【不調・不落対策等】

1. 公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式） 企業実績評価型
2. 競争参加資格の緩和
3. 難工事指定
4. 余裕期間制度（フレックス方式）
5. 施工箇所が点在する工事の積算について

※詳細は次頁をご覧下さい。

<発表記者クラブ>

竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 長野県庁会見場 長野市政記者クラブ 長野市政記者会

<問い合わせ先>

関東地方整備局 長野国道事務所

電話：026-264-7001（代表） メールアドレス：ktr-nagano-koho@gxb.mlit.go.jp

副所長（技術） 岡田（おかだ）（内線205）

管理第二課長 秋田（あきた）（内線441）

《工事概要》

- (1) 工事名：R7松本国道出張所管内橋梁補修維持他工事
- (2) 工事場所：長野県安曇野市明科七貴地先
- (3) 工期：全体工期 契約締結日の翌日から令和9年2月26日
- (4) 入札方式：公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）企業実績評価型
- (5) 工事種別：橋梁補修工事
- (6) 工事内容（概要）：点在型

【木戸橋及び会田川橋】

- ・伸縮継手補修工 約60m
- ・ひび割れ補修工 約4.0m
- ・切削オーバーレイ 約3500m³
- ・応急処理工 1式

【宮渕陸橋】

- ・橋面防水工 約200m²
- ・伸縮継手補修 約55m
- ・舗装打換え工 約136m²
- ・応急処理工 1式

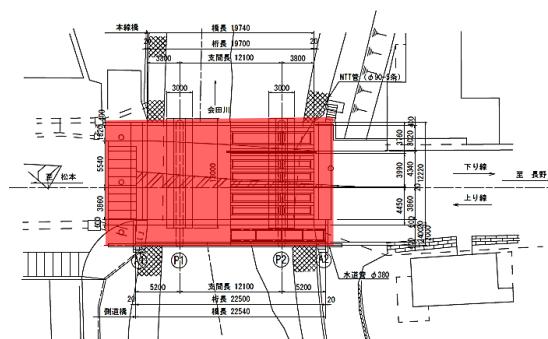
【平田跨線橋】

- ・橋面防水工 約200m²
- ・舗装打換え工 約190m²
- ・応急処理工 1式

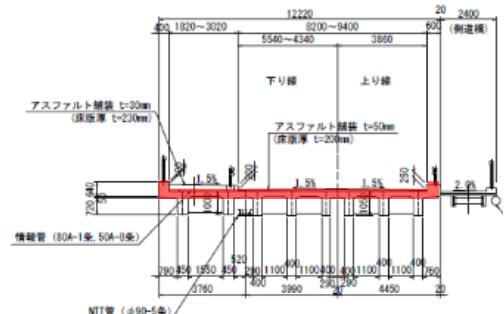
■工事概要図

会田川橋

平面圖

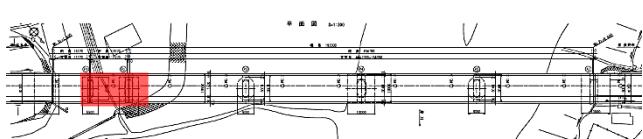


断面図

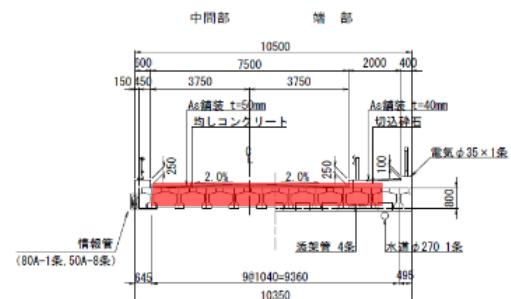


木戸橋

平面図

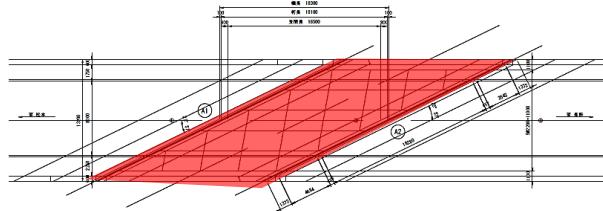


断面図

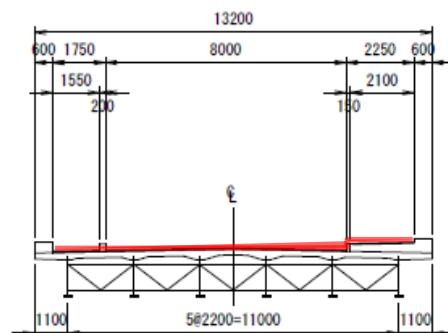


宮渕陸橋

平面図

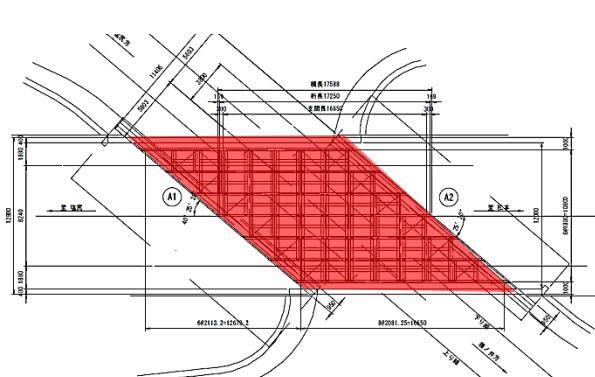


断面図

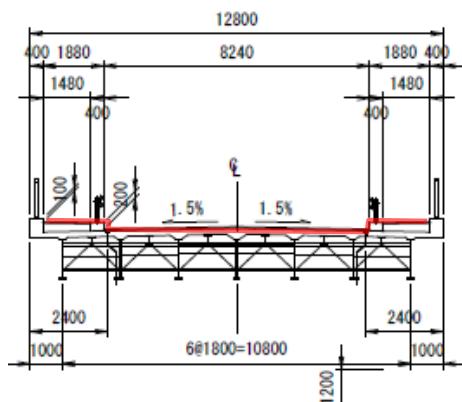


平田跨線橋

平面义



断面图



《不調・不落対策等》

1. 公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）企業実績評価型

競争参加者が少数と見込まれ、技術難易度が比較的低い工事について、試行するものです。

特徴は次のとおりです。なお、公共工事の実績のない企業でも参加しやすい方式となっています。

1) 競争参加時に配置予定技術者の申請は不要です。

（参加要件として配置予定技術者の工事経験の設定はありません。）

2) 総合評価における加算点の評価対象は、企業における防災に係る取組姿勢、同種工事の施工実績、本発注工事の工事種別における新規契約の有無及び賃上げの実施、ワーク・ライフ・バランス関連認定企業の評価を加算点としています。

3) 過去の工事成績や表彰実績、配置予定技術者の技術力は評価対象としません。

2. 競争参加資格の緩和

1) 地域要件の拡大

工事場所等の地理的条件を勘案し、競争参加資格の地域要件を「長野県内」に建設業法に基づく本店、支店又は営業所を有する企業から「関東地方整備局管内」に建設業法に基づく本店、支店又は営業所を有する企業に拡大します。

2) 企業に求める施工実績の緩和

企業に求める施工実績を「道路橋（橋種（鋼橋、PC橋）は問わない）の補修または補強を行った工事」に限定せず、「道路橋（橋種（鋼橋、PC橋）は問わない）もしくは横断歩道橋の補修または補強工事、道路橋新設工事（いずれも塗装工事のみは除く）のいずれかを行った工事」として緩和します。

3. 難工事指定

本工事は、交通量の多い国道19号での現道において、JRとの近接施工や周辺住民への騒音・振動への配慮を含む安全管理が必要であるため、「難工事」の指定を実施します。

「難工事」指定された工事は、完成時に70点以上の工事成績評定を通知された場合、今後発注される「難工事施工実績評価対象工事（試行）」の総合評価の評価項目において加点対象となります。なお、主任（監理）技術者または現場代理人として従事した経験について、審査基準日の月以前の4年間が評価対象となります。

4. 余裕期間制度（フレックス方式）

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、契約時に令和9年2月26日までの間で、受注者は工事の始期及び終期を任意に設定することができます。

なお、工事の始期までの余裕期間内は、監理技術者等の配置が不要となります。

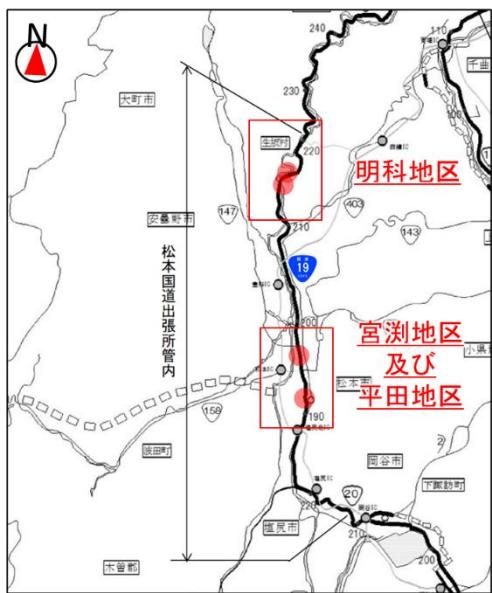
5. 施工箇所が点在する工事の積算について

施工箇所が点在する工事の積算について、建設機械を複数箇所に運搬する費用や交通規制等がそれぞれの箇所で発生するなど、積算額と実際にかかる費用に乖離が考えられることから、共通仮設費、現場管理費を箇所毎に算出する「施工箇所が点在する工事の積算」を採用します。

本工事の地区は、明科地区、宮渕地区、平田地区とし、詳細は下図のとおりです。

位置図

■全体図



■明科地区



■宮渕地区及び平田地区



出典:国土地理院地図を加工して使用

《スケジュール》

- 入札公示、入札説明書交付
- 技術資料等の提出期限
- 入札書・工事費内訳書の提出期限
- 開札日

- ：令和 8 年 1 月 30 日 (金)
- ：令和 8 年 2 月 10 日 (火)
- ：令和 8 年 3 月 13 日 (金)
- ：令和 8 年 3 月 18 日 (水)

公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式・企業実績評価型)の試行について

